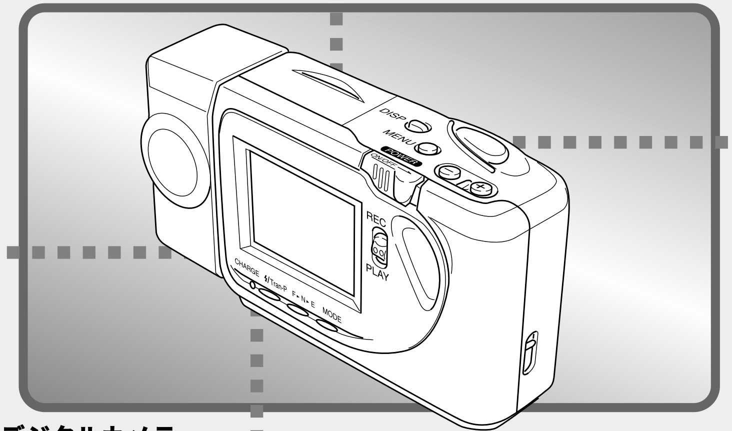
CASIO

P Z



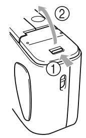
液晶デジタルカメラ
QV-770
取扱説明書（保証書付き）

ごあいさつ
このたびはカシオ製品をお買上げ頂き、まことにありがとうございます。本機は、撮影した内容をその場で見ることができる液晶カラーモニターを備えた、コンパクトタイプの液晶デジタルカメラです。本機をご使用になる前に、必ず、別紙の「安全上のご注意」をお読みになり、本書とともにお読みになった後も、大切に保管してください。

電池を入れます（詳細は15ページ参照）

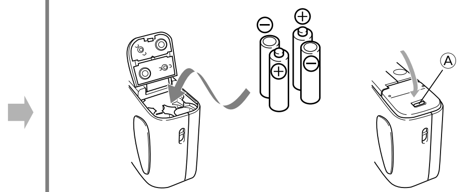
ご使用前に、必ず付属の単３型電池をセットしてください。

1



本体底面の電池ブタの開閉ツマミを、矢印の方向にスライドさせ(①)、フタを開きます(②)。

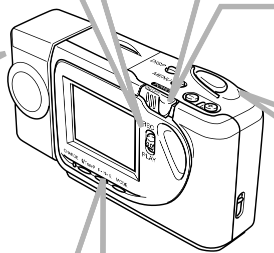
2



電池を図のようにセットした後、電池ブタを閉めます。

- 必ず単３型のアルカリ電池および、リチウム電池、指定の充電池をご使用ください。マンガン電池は使用できません。
- ツマミ部分が「パチン」というまでしっかりと押し下げてください。
- 電池ブタの先端（Ⓐの部分）を押すと簡単に閉めることができます。

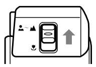
撮影するには（詳細は20ページ参照）



1 **【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）に合わせます。**

2 **電源（右方向にスライド）を入れます。**

3

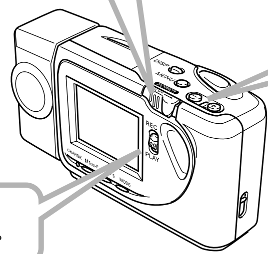


～▲（標準）の位置に合わせます。
＊接写の場合は（接写）の位置が適しています。標準／接写切替についての説明は、24ページを参照してください。

4 **撮影する画質モードを選択（【F▸N▸E】を押す）します。**
＊高精細画質“F”→ 標準画質“N”→ エコノミー画質“E”の順で切り替わります。

5 **撮影する被写体に本機を向けます。液晶画面で確認しながら、ゆっくりと【シャッター】を押します。**

撮影した内容を見るには（詳細は32ページ参照）



1 **【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）に合わせます。**

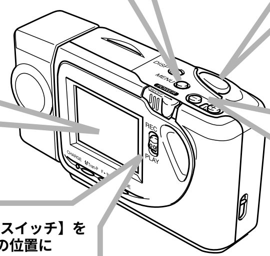
2 **電源（右方向にスライド）を入れます。**
• 画面に撮影内容が表示されます。

3 **【+】または【−】を押すと、記録した画像の送り／戻しができます。**

本機には、デモ用の画像が記録されています。
不要の場合は、削除してください。

早分かりガイド

いらない画像を削除するには（詳細は49ページ参照）



1 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。

2 【MENU】を押します。

3 【+】または【−】で“DELETE”を選び【シャッター】を押します。

↓

【+】または【−】で“PAGE”（1枚削除）を選び、【シャッター】を押します。

↓

【+】または【−】で削除する画像を選びます。

4 現在表示されている画面が間違いなく削除したい画像であることを確認してください。

＊削除を中止したい場合は、【MENU】を押してください。

5 【シャッター】を押します（削除完了）。

削除の操作を終了するには、【MENU】を押します。

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部又は全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機のビデオ出力は、日本やアメリカなどで標準的なNTSC方式になっています。ヨーロッパなどのPAL方式や他の方式のテレビ、ビデオ機器では正常に表示されませんのでご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本文中の以下の用語は、それぞれ他社の商標です：
Windowsは米マイクロソフト社の商標です。
Macintoshは米アップルコンピューター社の商標です。

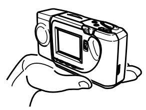
IrDA通信は、Phoenix Technologies社のプロトコルソフトを使用しています。

目　次

本機の特徴

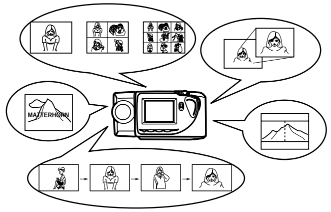
携帯性にすぐれた小型・軽量サイズ

モニター一体型でのコンパクトカメラサイズを実現しました。



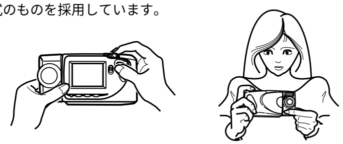
ムービー／パノラマなど多彩な表示機能を搭載

約3.2秒の動画が撮影できるムービー機能、複数の画像をつなぎ合わせるパノラマ機能を搭載。さらに、一度に複数画面を一覧するマルチ画面表示、ディテール確認のためのクローズアップ機能、撮影した画像を自動的に次々と表示するオートプレイ機能など、さまざまな表示機能を搭載しています。



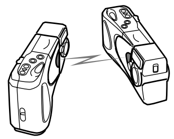
ファインダーを覗かず撮影→撮ったその場で確認できる

高画質ＴＦＴ方式の液晶画面は、明るい所でも見やすい低反射方式のものを採用しています。



ビデオ出力／デジタル転送／赤外線通信機能（IrTran-P）でパワーアップ

ビデオ出力機能を使えば、大画面テレビにつないでプレゼンテーションに活用することができます。また、撮影画像をパソコンにデジタルデータとして転送し保存、編集したり、逆にパソコン上の画像を本機に転送して持ち運ぶこともできます。さらに、赤外線通信機能を使用すれば、接続ケーブルを使用せずにデータの送受信ができます（IrTran-P搭載の電子機器に対応）。



使用上のご注意

データエラーのご注意

本製品は精密な電子部品で構成されており、以下の様なお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。

- 記録、通信中に電池をはずしたり、ＡＣアダプターをはずしたとき
- 通信中のケーブルはずれ
- 消耗した電池を使用し続けたとき
- その他の異常操作

このような場合カメラの操作ができなくなり、次の表示がでてきましたら、画面内容に対応したご処置をお願いいたします。



メモリーエラー＃１、＃３画面

画面に表示されるメッセージとその対処方法。（→73ページ）



メモリーエラー＃２、＃４画面

最寄りのカシオテクノ・サービスステーションへご連絡ください。（→78ページ）

使用環境について

- 使用できる温度の範囲は、０℃～４０℃です。
- 次のような場所には置かないでください。
  - －直射日光のあたる場所、湿気やホコリの多い場所。
  - －冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所。
  - －日中の車内、振動の多い場所。

結露について

- 真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障の原因になりますので、ご注意ください。結露を防ぐには、温度差の大きな場所の間を移動する前に、本機をビニール袋に入れて密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に十分慣らしてから取り出してください。なお結露してしまった場合は、本機から電池を取り出して、電池ブタを開けたまま数時間放置してください。

蛍光管について

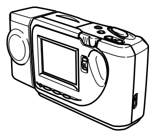
- 液晶画面のバックライトに使用されている蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったりチラつく場合は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーション（78ページ）までご連絡ください。有償にてお取り換えします。蛍光管の寿命は、一日２時間のご使用で約６年間です。
- 低温でご使用の場合は、バックライトが点灯するまでに時間がかかったり、赤味を帯びることがありますが、故障ではありません。しばらくすると正常に戻ります。

はじめに

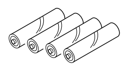
ここでは、本機をお使いになる前の付属品の確認、各部の名称、電源について説明しています。

付属品の確認

箱を開けたら、まず以下の付属品が全部そろっているかどうかをご確認ください。もし、これらの付属品が全部そろっていなかった場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。



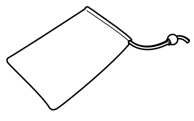
デジタルカメラ本体



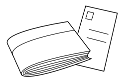
アルカリ電池（単３× ４）



ストラップ



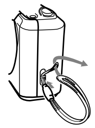
ソフトケース



取扱説明書（保証書付き）
アンケートカード

ストラップの取り付けかた

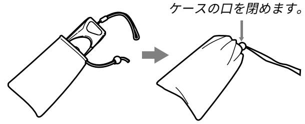
ストラップは、図のようにストラップ穴に通し、しっかりと引っ張ります。



重要! カメラ操作時は、落下を防止するため、必ずストラップに手を通した状態で使用してください。

ソフトケースの使いかた

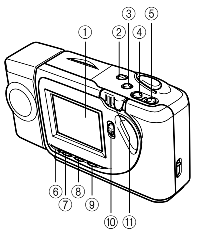
ご使用にならない時は、本機を付属のソフトケースに入れて保管してください。



各部の名称

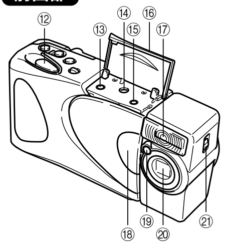
この取扱説明書中では、本機の各部の名称は以下の【　】内の呼びかたを使います。
スイッチやボタンの場所がわからなくなった場合は、こちらをご参照ください。

後面部



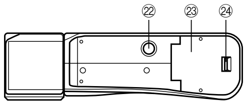
①【液晶画面】
②【DISP】
③【MENU】
④【−】
⑤【+】
⑥【チャージランプ】
⑦【⚡/Tran-P】（フラッシュ/IrTran-P通信）
⑧【F▸N▸E】（画質モード切替）
⑨【MODE】
⑩【ファンクションスイッチ】
⑪【電源スイッチ】

前面部



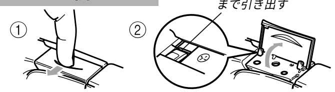
⑫【シャッター】
⑬【ビデオ出力端子】
⑭【外部電源端子】
⑮【デジタル端子】
⑯【端子カバー】
⑰【フラッシュ】
⑱【赤外線送受信部】
⑲【露光センサー】
⑳【レンズ】
㉑【人物~山／花】（標準／接写切替スイッチ）

底面部



㉒ 三脚穴
㉓ 電池ブタ
㉔ 開閉ツマミ

端子カバーの開きかた

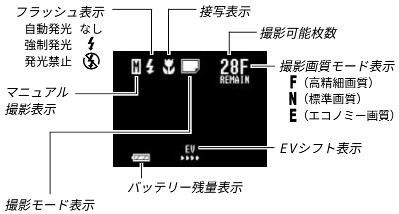


重要! 端子カバーは、上記イラストの①で、完全に手前に引き出した状態で上に開いてください。無理な力を加えると破損のおそれがあります。

画面情報表示

【DISP】を押すと、画面にさまざまな情報を表示することができます。
• 液晶画面に表示される範囲は、実際の画像よりもややせまく表示されます。

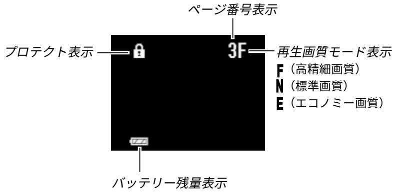
撮影モード時



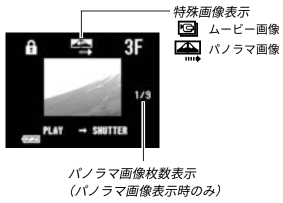
	通常撮影		通常セルフタイマー撮影（SINGLE）
	ムービー撮影	MOVIE	ムービーセルフタイマー撮影（MOVIE）
	押し続け連写撮影（CONT.S）	FUTURE	タイムショット「未来モード」セルフタイマー撮影（FUTURE）
	タイムショット「過去モード」撮影（PAST）		パノラマ撮影
	タイムショット「未来モード」撮影（FUTURE）		タイトル撮影

再生モード時

通常再生時



特殊画像再生時



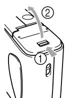
電源について

本機は、乾電池（単３型アルカリ電池および、リチウム電池）、指定の充電池または家庭用電源を利用できます。

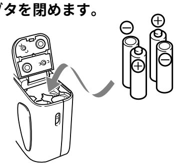
電池を入れるには

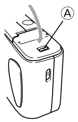
電池交換の際は、電源を切った状態で行なってください。

1. **本体底面の電池ブタの開閉ツマミを、矢印の方向にスライドさせ（①）、フタを開きます（②）。**



2. **電池を図のようにセットした後、電池ブタを閉めます。**





• 必ず単３型の指定電池をご使用ください。マンガン電池は使用できません。
• ツマミ部分が「パチン」というまでしっかりと押し下げてください。
• 電池ブタの先端（Ⓐの部分）を押すと簡単に閉めることができます。

電池持続時間の目安

以下の電池持続時間は、標準温度（25℃）で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間ではありません。低温下で使うと、電池持続時間が短くなります。

使用電池	連続再生時	連続撮影時
単３型アルカリ電池　LR6	約190分	約690枚撮影可能※1
単３型リチウム電池　FR6	約320分	約1430枚撮影可能※1

アルカリ電池は松下電池工業(株)製、リチウム電池は富士写真フィルム(株)製の場合の数値です。電池持続時間はメーカーによって異なります。

■充電式電池のご利用について

本機では充電式の電池もご利用いただけますが、その際は必ず以下の製品をお使いください。他の充電式電池については動作保証いたしかねます。

東芝電池(株)製　単三型ニッケル水素(Ni-MH)蓄電池
　TH-3A(1.2V　1300mAh)
三洋電機(株)製　単三型ニッケルカドミウム(Ni-Cd)蓄電池
　N-3US(1.2V　1000mAh)

重要! 電池は、必ず同じ製品を４本セットでご使用ください。違う種類の電池や、充電状態の異なる電池を組み合わせてご使用になると、電池寿命を短くしたりカメラの故障の原因となります。

使用電池	連続再生時	連続撮影時
ニッケル水素蓄電池 Ni-MH	約160分	約740枚撮影可能※1
ニッケルカドミウム蓄電池 Ni-Cd	約150分	約640枚撮影可能※1

参考 ※1　連続撮影枚数は、フラッシュを使用せずに撮影した場合の撮影可能枚数です。フラッシュの使用、電源のON／OFFなどの条件により数値は異なります。
各電池の特性の違いから電池残量表示の変化のスピードも各々て異なります。

電池使用時の注意事項

禁止

● 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
　• 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れてください。
　• 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
　• 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
　• 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。
● 電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。
● 使えなくなった電池は漏液して故障の原因となりますので、すぐに取り出してください。

• ２週間以上使用しないときは、取り出しておいてください。
• 電池が消耗してくると熱を持ちますが故障ではありません。

電池残量／警告表示

本機の電池が消耗すると本機の画面左下のバッテリー残量表示が“ ▭ ”になります（画面情報表示時）。そのまま使用し続けると画面中央にバッテリー警告“ ⊠ ”が表示され、自動的に電源が切れます。
速やかに４本とも新しい電池と交換してください。

オートパワーオフ機能

本機の電源を入れたままで、一切の操作を行なわずに放置すると、節電のために自動的に電源が切れます。電源が切れるまでの時間は、撮影モード時*で約２分、再生モード時*で約５分です。再び使用するときは、電源を入れ直してください。

＊【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置にセットした状態を「撮影モード」、［PLAY］（再生）の位置にセットした状態を「再生モード」と呼びます。

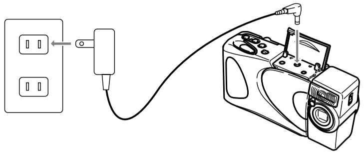
重要! 以下の状態では、オートパワーオフは働きませんので、ご注意ください。

• ムービー再生中（33ページ）
• パノラマ再生中（34ページ）
• オートプレイ中（37ページ）
• 赤外線通信中（61ページ）
• 本機のデジタル端子を通じて本機を外部のパソコンなどと接続しており、パソコンから本機を操作しているとき（60ページ）
• ACアダプターを接続しているとき（17ページ）

家庭用電源を使うには

家庭用電源から電源を取るには、別売品の専用ACアダプター（AD-C620）をご利用ください。

＊ AD-C620は米国などAC100〜120Vの電源地域への旅行の際はそのままご使用になれます。



ACアダプター使用時の注意事項

禁 止

- 表示された電源電圧（AC100〜120V）以外の電圧で使用しないでください。火災・故障・感電の原因となります（ACアダプターは別売本機専用をご使用ください）。
- ACアダプターの電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・故障・感電の原因となります。
- ACアダプターの電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線をしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- 万一、ACアダプターの電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・故障・感電の原因となります。

- ACアダプターを抜き差しする際には、必ず本機の電源を切った状態で行なってください。
- 本機に電池をセットした状態でACアダプターを使う場合でも、電源を入れたままACアダプターの抜き差しをするのはおやめください。電源を入れたままACアダプターの抜き差しを行なうと、製品保護のために本機の電源は一度切れますが、保護しきれずに故障の原因となることがあります。
- ACアダプターは、長時間ご使用になりますと若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、ACアダプターをコンセントから必ずはずしてください。

操作のしかた

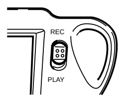
ここでは、本機の操作のしかたを詳しく説明します。撮影に際して調節のできる各項目、撮影した画像の見かたのさまざまなバリエーション、必要のない撮影内容の削除のしかたについて記載してあります。

撮影する

基本的な撮影

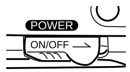
最も基本的な撮影のしかたです。以下の手順で操作してください。

1. 【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。



＊［REC］は撮影するときの位置（撮影モード）、［PLAY］は撮影した内容を見るときの位置（再生モード）です。

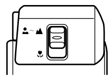
2. 【電源スイッチ】を矢印の方向にスライドさせます。



- 【電源スイッチ】は、指を離すと元の位置に戻ります。

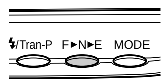
＊ 電源を入れると、通常撮影モードになります。
＊ この時、液晶画面には、レンズを向けた方向の光景が表示されます。
＊ 手順１と２は、どちらの操作を先に行なっても構いません。
＊ 電源を切るには、【電源スイッチ】をもう一度スライドさせてください。

3. 【👤~▲▲／🌷】を 👤~▲▲（標準）の位置に合わせます。



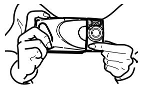
＊ 15cm前後の位置にある被写体を撮影する場合は、🌷（接写）の位置が適しています。標準／接写切替についての詳しい説明は、24ページを参照してください。

4. 【F▸N▸E】を押して画質モードを切り替えます。



＊【F▸N▸E】は１回押すたびに高精細画質"F"→標準画質"N"→エコノミー画質"E"の順で切り替わります。
＊ 画質によって保存できる枚数が異なります（24ページの「画質モードの切り替え」を参照してください）。

5. **撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】を押します。**



- 液晶画面を見ながら、ゆっくりと被写体にフレームを合わせます。

＊ *レンズを指でふさがないようにご注意ください。*
＊ *手ブレを起こさないために、【シャッター】は静かに押してください。*
＊ *ここで【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）に合わせると、今撮影した内容が確認できます。*

撮影時の注意事項

- 画面に " WAIT " の表示が出ている間に、電池ケースのフタを開けることは、絶対におやめください。画面に " WAIT " が表示されている間に誤って電池ケースのフタを開けてしまうと、今撮影した内容が記録されないばかりでなく、撮影済みの内容が破壊されるおそれがあります。
- 蛍光燈照明の室内で撮影する場合、本機は蛍光燈のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、撮影するタイミングによって、微妙に撮影画像の明るさや色合いが変わる場合があります。

フラッシュメモリーについて

本機は、撮影画像の記録用として「フラッシュメモリー」を内蔵しています。フラッシュメモリーは、電池の消耗などにより本機への電源の供給が途絶えた場合でも、記録した撮影画像のデータを保持することができます。電池消耗により本機の電源が入らなくなった場合でも、新しい電池を入れ直すか、別売品のACアダプターを接続して再度電源を入れることで、撮影した画像を再び見ることができます。

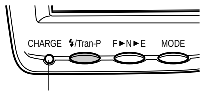
フラッシュ撮影

フラッシュを使った撮影ができます。
自動発光にすると、暗い場所で撮影するときに自動でフラッシュが発光します。

1. **【⚡/Tran-P】を押します。**

- 【⚡/Tran-P】を押すごとに、自動発光 → 強制発光"⚡"→発光禁止"⊘"の順番で発光状態が切り替わります。

＊ *フラッシュの充電中は液晶画面が消え【チャージランプ】が点滅します。*



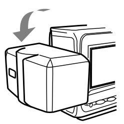
【チャージランプ】

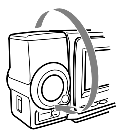
画面表示	発光状態
表示なし	「自動発光」露出に合わせて自動的に発光します。
⚡	「強制発光」露出に関係なく強制的に発光します。
⊘	「発光禁止」露出に関係なく発光しません。

重要!
- フラッシュの発光部や露光センサー部分が指で隠れないようにしてください。隠れてしまうと本来の効果が得られません。
- フラッシュによる撮影距離は約0.7m〜約3mの範囲です。この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。
- フラッシュの充電は、その時の使用条件（電池の種類、状態や温度等）により数秒〜10秒程度かかります。
- 連写撮影モードとムービー撮影モード／セルフタイマー撮影モード（ムービー、FUTURE）になっているときは、フラッシュは発光しません。このとき "⊘" マークが点滅します。
- 電池が弱ってくるとフラッシュの充電ができなくなることがあります。このとき "⊘" マークが赤く点滅し、フラッシュが正常に発光せず適性な露出が得られないことを示します。速やかに新しい電池と交換してください。

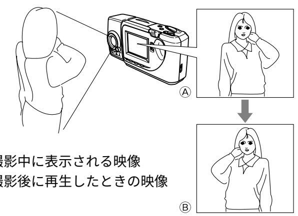
レンズ部の回転

本機のレンズ部は回転する構造になっており、自由なアングルで被写体を捉えることができます。





- レンズ部を手前に回転させた場合は、液晶画面に表示される映像は反転し鏡像（左右が逆の映像）となります。この状態で撮影を行なった場合、再生した映像は正像に戻ります。

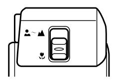


Ⓐ …… 撮影中に表示される映像
Ⓑ …… 撮影後に再生したときの映像

重要!
- レンズ部は、回転範囲を越えて無理に回そうとしないでください。無理な力を加えると、レンズ部が折れるなど破損するおそれがあります。
- レンズ部のみを持って持ち運んだり、ふり回したりしないでください。
- 本機の保管時は、レンズ部は元の状態（レンズを液晶画面の反対側に向け、本体に対して傾きのない状態）に戻しておいてください。

標準／接写の切り替え

本機は、撮影したい被写体までの距離に応じて、標準／接写の切り替えができます。標準／接写の切り替えには、【👤~⛰／🌷】を使います。👤~⛰（標準）、🌷（接写）それぞれの位置での撮影に適した距離は以下の通りです。



＊ 接写の時は、液晶画面に"🌷"マークが表示されます。

	標準撮影	接写撮影
切替スイッチ	👤~⛰	🌷
撮影可能距離	0.7m〜∞	14cm〜16cm

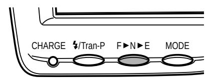
撮影可能距離はレンズ前面のプロテクタから被写体までの距離です。

画質モードの切り替え

本機は、撮影する内容に応じて、画質の切り替えができます。

1. **【F▶N▶E】を押します。**

- 【F▶N▶E】を押すごとに、高精細画質"F"→標準画質"N"→エコノミー画質"E"の順番で切り替わります。



それぞれの撮影可能枚数は以下の通りです。

画質表示	撮影画質	撮影可能枚数
F	高精細画質	30枚以上（約124KB圧縮画像）
N	標準画質	60枚以上（約62KB圧縮画像）
E	エコノミー画質	120枚（約32KB圧縮画像）

＊ 撮影枚数は、撮影した画像によって圧縮率が変化するため一定ではありません。

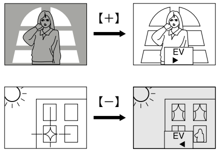
露出補正

本機は、撮影時の明るさに応じて、シャッタースピードと絞りを自動的に変化させる「プログラムAE」を行なっています。このプログラムAE機能とは別に、露出値（EV値）を一定範囲で手動で補正することができます。逆光での撮影、間接照明の室内、背景が暗い場合の撮影時などに利用すると、より良好な画像が得られます。

1.【+】または【−】を押すと露出補正(EVシフト)され、画面にバーグラフが表示されます。

【+】....... 液晶画面が明るくなり、室内などの暗い所や逆光での撮影時に適します。

【−】....... 液晶画面が暗くなり、晴天の屋外などでの撮影に適します。



＊ 補正値の限界になるとバーグラフが赤の表示になります。

2. 適切な明るさになったら、【シャッター】を押してください。

参考
- 電源を入れた時点では、露出補正値は0になっています。
- 露出補正値は、【+】または【−】を押すごとに、0.25EV刻みで、−2EV〜+2EVの範囲で変化させることができます。
- 露出補正値は、【シャッター】を押すごとにリセットされて0に戻ります。【シャッター】を押さずにリセットしたい場合は、反対方向に露出補正し、バーグラフ表示を消します（パノラマ撮影時は、EVシフトは固定されます）。
- EVシフトを設定すると、その時点でのシャッタースピードと絞りに固定されます。

重要! 露出補正値は、明るすぎたり暗すぎたりする環境では、−2EV〜+2EVの範囲内でも変化できない場合があります。

自動絞り切り替え

本機の絞りは、撮影時の明るさに応じて自動的に切り替わります。切り替わるときに作動音がしますが異常ではありません。

その他の撮影方法

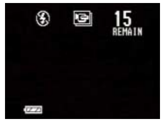
本機では、通常撮影以外にもいろいろな撮影方法があります。

ムービー撮影

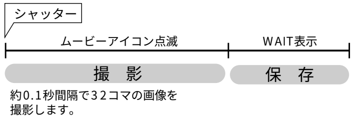
約3.2秒の動画を撮影することができます。

1.【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。

2.【MODE】を何回か押して「ムービー撮影」マーク( )を表示させます。



3. 撮影する被写体にフレームを合わせ【シャッター】を押します。



重要!
- ムービー撮影中はフラッシュの発光はしません。
- ムービー撮影した画像はグループ管理され、移動・消去・プロテクトは一括で処理されます。
- パソコンに転送し、再び本機に画像を戻した場合は、ムービー再生することができません。
- ムービー撮影時の画像モードは、必ず高精細画質"F"になります。このとき画質モード切り替え【F▸N▸E】は効きません。
- 高精細画質"F"で、2枚分以上の残り枚数がないと、ムービー撮影できません。

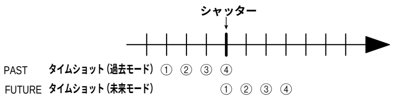
連写撮影

連写の種類には、以下の3通りの方法があります。

CONT.S **「押し続け連写」**
【シャッター】を押し続けている間、撮影することができます。（約1秒間隔）

PAST **「タイムショット（過去モード）」**
【シャッター】を押したときより前（過去）の画像を3枚とシャッターを押した瞬間の1枚を約0.05秒間隔で撮影します。

FUTURE **「タイムショット（未来モード）」**
【シャッター】を押してから約0.05秒間隔で4枚撮影します。



PASTタイムショット（過去モード）、FUTUREタイムショット（未来モード）とも撮影直後に表示される画像は3番目の画像③になります。

重要!
- 連写撮影中はフラッシュの発光はしません。
- タイムショット時のメモリー残量によっては、4枚記録できません。

1.【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。

2.【MODE】を何回か押して「連写撮影」マーク(/ /)を表示させます。



3.【MENU】を押します。



4.【+】または【−】で連写の種類を選び【シャッター】を押します。

5. 撮影する被写体にフレームを合わせ【シャッター】を押します。

＊ 押し続け連写する場合は、【シャッター】を押し続けます。

セルフタイマー撮影

撮影方法には、以下の3つがあります。

SINGLE **「1枚撮影」**
10秒後に1枚撮影することができます。
（撮影者が写るときに使用します。）

MOVIE **「ムービー撮影」**
10秒後にムービー撮影ができます。
（撮影者の動きを撮るときに使用します。）

FUTURE **「タイムショット（未来モード）」**
10秒後に4枚連写します。
（4枚の内のベストショットを選びます。）

重要! SINGLE「1枚撮影」以外はフラッシュの発光はしません。

1.【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。

2.【MODE】を何回か押して「セルフタイマー撮影」マーク( )を表示させます。



3.【MENU】を押します。



4.【+】または【−】で撮影の種類を選び【シャッター】を押します。

5. 撮影する被写体にフレームを合わせ【シャッター】を押します。

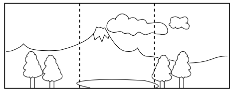
＊ 液晶画面に10秒前からのカウントダウンが表示され、撮影します。

＊ カウントダウン表示中に【シャッター】を押すと、セルフタイマー撮影を解除することができます。

参考 セルフタイマー撮影時は、レンズ部を180°回転させて、レンズと液晶画面を同じ側にしておくと、セルフタイマーのカウントダウン表示を見ながら撮影されるのを待つことができます。途中で撮影をキャンセルしたくなった場合などにも、あと何秒で撮影されるかがわかり、便利です。

パノラマ撮影

複数の画像をつなぎ合わせて、パノラマ画像を作ることができます。



1.【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。

2.【MODE】を何回か押して「パノラマ撮影」マーク（）を表示させます。



3. 撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】を押します。

4. 前回撮影した画像が残像になって画面左端に表示されます。

- 2枚目以降はそれに合わせて撮影してください。

＊最大9枚までを1グループとして撮影し、パノラマ再生することができます。途中で撮影を終了したい場合は、【MENU】を押します。
＊パノラマ撮影は、10枚目以降も可能です。パソコンのソフトで10枚以上合成する場合に利用できます。

参考 パノラマ撮影時の絞りとホワイトバランスは、1枚目を撮影したときの状態でロックされて2枚目以降の撮影をします。

重要! パソコンに転送し、再び本機に画像を戻した場合は、パノラマ再生することができません。

マニュアル撮影

絞り、ホワイトバランスをマニュアル設定することができます。好みや撮影状況によって設定を変更してください。
光源や撮影環境の違いにより、絞りやホワイトバランスを選択することで、より美しい画像や、色合いを得られる場合があります。

絞り .... AUTO、F2、F8の切り替えができます。F8にすると、撮影可能範囲が広くなります（標準0.3m〜∞、接写11〜26cm）。
ホワイトバランス .... AUTO、WB1、WB2、WB3の切り替えができます。

参考 ホワイトバランスとは、被写体を自然の色合いで撮影できるように白色系の部分を基準に調整することをいいます。



.... 電灯下で赤みがあるときに設定



.... 蛍光灯下で青みがあるときに設定



.... 屋外での撮影時に設定

1.【ファンクションスイッチ】を[REC]（撮影）の位置に合わせます。

2.【MODE】を何回か押して「通常撮影」マーク（）を表示させます。



3.【MENU】を押します。



4.【＋】または【－】で絞り（APT）を選び【シャッター】を押します。



5.【＋】または【－】でホワイトバランス（WB）を選び【シャッター】を押します。

- 画面の左上にマニュアル撮影"M"マークが表示されます。

＊マニュアル設定された内容は、電源をOFFにしないかぎり、他の撮影モードに切り替えても有効です。
＊AUTOの撮影状態に戻すときは、電源をOFFにするか、もう一度「マニュアル撮影モード」にして、絞り（APT）とホワイトバランス（WB）をAUTOにします。

6. 撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】を押します。

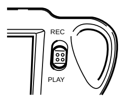
再生する

ここでは、撮影した内容のいろいろな見かたを説明します。

基本的な再生

本機は液晶画面を備えているので、記録されている内容を本機だけで確認することができます。記録されている内容は、メモ帳のページをめくる要領で、順次送ったり戻したりしながら見ることができます。

1.【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。



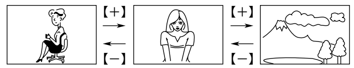
＊[PLAY]は撮影した内容を見るときの位置（再生モード）、[REC]は撮影するときの位置（撮影モード）です。

2.【＋】または【－】を押します。

- 【＋】を押すと後ろの画像が表示され、【－】を押すと前の画像が表示されます。
- 【シャッター】と【－】を同時に押すと先頭の画像に移動します。
- 【シャッター】と【＋】を同時に押すと最終の画像に移動します。

重要! ムービー撮影／パノラマ撮影した画像が表示されているときに、先頭／最終の画像に移動することはできません。

- 【＋】または【－】を押し続けると画像が早く送られます。



参考 撮影を行なった直後に【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置にした場合は、今撮影した内容が表示されます。

ムービー再生機能

ムービーモードで撮影した画像を再生することができます。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

2. **【＋】または【－】を使ってムービー撮影した画像を表示させます。**



3. **【シャッター】を押すとムービー再生を始めます。**

- ムービー再生中に【＋】または【－】を押すと再生方向を切り替えることができます。
- ムービー再生中に【MENU】を押すと「コマ送り」「コマ戻し」「表示切替」ができます。

＊「表示切替」は、【DISP】を押すごとに、1/4画面→1/4画面（鏡像）→全画面表示の順で切り替わります。
＊全画面表示は、【シャッター】で元の1/4画面に戻ります（【＋】/【－】は再生方向の切り替え）。この際は切り替わるまでしばらくキーを押し続けてください。

4. **ムービー再生を終了するには、【シャッター】を押します。**

＊パソコンリンクソフトでムービー画像を削除した場合は、ムービー画像1枚で再生します。
＊パソコン接続している時は、16分割された画像が表示されます。
＊ムービー画像をパソコンに転送すると16分割された2枚の静止画像になります。

参考 ムービー再生中はオートパワーオフ機能が働きません。

パノラマ再生機能

パノラマモードで撮影した画像を再生することができます。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

2. **【＋】または【－】を使ってパノラマ撮影した画像を表示させます。**



3. **【シャッター】を押すとパノラマ再生を始めます。**



- パノラマ再生中に【＋】または【－】を押すと再生方向を切り替えることができます。
  この際は切り替わるまでしばらくキーを押し続けてください。
- パノラマ再生中に【MENU】を押すとコマ送り、コマ戻しができます。

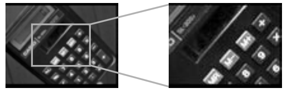
4. **パノラマ再生を終了するには、【シャッター】を押します。**

参考 パノラマ再生中はオートパワーオフ機能が働きません。

画像を拡大して表示する

撮影した画像を、部分的に2倍に拡大して表示させることができます。1画面表示の状態から、以下の操作を行なってください。

重要! ムービー撮影／パノラマ撮影した画像に対しては実行できません。



1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

2. **【＋】または【－】を使って拡大表示したい画像を表示させます。**

3. **【MENU】を押します。**



4. **【＋】または【－】を使って“VIEW”を選び【シャッター】を押します。**



5. **【＋】または【－】を使って“ZOOM”を選び【シャッター】を押します。**

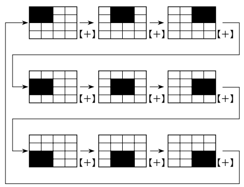
- 画面の中央部が2倍に拡大されて表示されます。

6. **【＋】または【－】を押します。**

- 押すごとに、拡大範囲が次の図のように移動します。

7. **拡大表示を終了するには、【＋】／【－】／【DISP】以外のボタンを押します。**

拡大範囲の移動のしかた

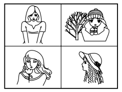


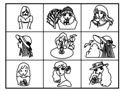
•【－】を押した場合は、この逆の動きになります。

参考 画面情報の表示中（14ページ）に拡大表示を行なうと、現在画面上のどの位置が拡大されているかを画面右上端に“▣”で表示します（これを「範囲表示」といいます）。拡大表示中でも、【DISP】を押すことで、範囲表示の表示／非表示を切り替えることができます。

1つの画面に複数画像を表示する

撮影した内容を、4枚または9枚同時に一覧表示させることができます。
大画面テレビに表示してカタログ的に楽しんだり、プレゼンテーションなどで威力を発揮します。





1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

2. **【MENU】を押します。**



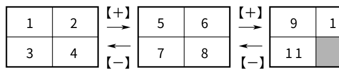
3. **【＋】または【－】を使って“VIEW”を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【－】を使って“4PAGE”または“9PAGE”を選び【シャッター】を押します。**

＊最初に表示していた画面を先頭として4画面、9画面がそれぞれ表示されます。
＊ムービー撮影／パノラマ撮影した画像は、先頭ページのみ表示されます。
＊ムービー撮影した画像は、他の画像よりもやや小さく表示されます。

5. **【＋】または【－】を押すごとに別の画像を表示できます。**



6. **複数画面表示を終了するには、【＋】／【－】／【DISP】以外のボタンを押します。**

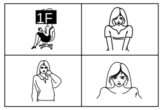
参考 複数画面表示中の画面の明るさは、最も明るい画面に合わせられます。

１画像を選んで表示する

複数画面表示を使うと、すばやく目当ての画面を探して１画面表示させることもできます。

1. **複数画面表示に切り替えます。**

2. **【DISP】を押します。**
- 左上の画像のページ番号が表示されます。

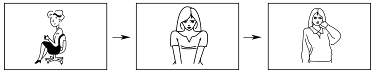


3. **【＋】または【−】を使ってページ番号表示を目当ての画像に移動させ【シャッター】を押します。**
- 目当ての画像が１画面表示されます。



オートプレイ機能

撮影した内容を、自動的に次々とページめくりしていく機能です。ページめくりの間かくを設定することができます。



重要! オートプレイ中は、本機のオートパワーオフ機能（本機の操作を行なわないと、一定時間後に自動的に電源が切れる機能、16ページを参照）が働きません。このため、乾電池や充電池で本機を使用しているときにオートプレイをしたまま忘れて放置してしまうと、確実に電池が消耗します。オートプレイで撮影した内容を見た後は、必ずオートプレイを終了して、電源を切るようにしてください。

オートプレイを開始する

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

2. **【MENU】を押します。**



3. **【＋】または【−】を使って“VIEW”を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【−】を使って“AUTO PLAY”を選び【シャッター】を押します。**

5. **オートプレイを終了するには【シャッター】を押します。**

＊ *このとき、【MENU】以外のどのボタンを押しても、オートプレイを終了することができます。*
＊ *画面の移動中はボタン操作が効かなくなります。画面の静止中にボタンを押してください。なかなか停止しない場合は、しばらくボタンを押し続けてください。*

オートプレイの設定

ページめくりの間かく（１〜３０秒）の設定を行なうことができます。

1. **「オートプレイを開始する」の手順に従って、まずオートプレイを開始します。**

2. **【MENU】を押します。**
- 画面の静止中に押してください。



3. **【＋】または【−】を使ってページめくりの間かくを選び【シャッター】を押します。**

＊ *ページめくりの間かくは、１秒から３０秒までの間で１秒間かくで指定できます。*
＊ *指定したページめくりの間かくでオートプレイを開始します。*

スクリーンセーバー機能

本機を操作しないで５分間放置しておくと、自動的にページめくり（オートプレイ機能）を開始する機能です。
液晶画面や、テレビ、モニターなどの焼き付け防止に役立ちます。工場出荷時に、スクリーンセーバー機能は“ON”になっていますので、パソコンリンクソフトで通信する時は“OFF”にしてください。

重要!
- 撮影モード時は、機能しません。
- ACアダプターを使用していないと、機能しません。
- “NO IMAGE”状態では実行できません。

1. **別売品の専用ACアダプター（AD-C620）を接続します。**

2. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

3. **【MENU】を押します。**



4. **【＋】または【−】を使って“VIEW”を選び【シャッター】を押します。**



5. **【＋】または【−】を使って“SCREEN SAVER”を選び【シャッター】を押します。**

6. **【＋】または【−】を使って“ON”を選び【シャッター】を押します。**
- スクリーンセーバーの機能になります。
- スクリーンセーバーの機能を解除する場合は“OFF”を選びます。

7. **５分間無操作状態が続くと、スクリーンセーバーを開始します。**
- ページめくりの間隔はオートプレイと同じです。

8. **スクリーンセーバーを終了するには【シャッター】を押します。**

＊ *このとき、【MENU】以外のどのボタンを押してもスクリーンセーバーを終了することができます。*
＊ *画面の移動中はボタン操作が効かなくなります。画面の静止中にボタンを押してください。なかなか停止しない場合は、しばらくボタンを押し続けてください。*

撮影した画像を編集する

撮影した画像を本機の編集機能を使用していろいろな内容に変更することができます。

画像にフィルターをかける

撮影した画像を、白黒やセピア色に変更することができます。

重要!
- 以下の状態のときは、実行できません。
  - 表示している画像が高精細画質“F”のとき、撮影できる画像が標準画質“N”とエコノミー画質“E”しかない場合。
  - 表示している画像が標準画質“N”のとき、撮影できる画像がエコノミー画質“E”しかない場合。
  - 表示している画像がムービー撮影／パノラマ撮影した画像の場合。
  - “MEMORY FULL”が表示されている場合。
- 回転させた画像に対してフィルターをかけると、回転処理が解除されます。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

2. **【＋】または【−】を使ってフィルターをかける画像を表示させます。**

3. **【MENU】を押します。**



4. **【＋】または【−】を使って“EFFECT”を選び【シャッター】を押します。**



5. **【＋】または【−】を使って“FILTER”を選び【シャッター】を押します。**

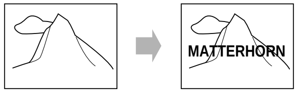


6. **【＋】または【−】を使ってフィルターの種類を選び【シャッター】を押します。**

＊ *【＋】または【−】を押すごとに５種類のフィルター効果が切り替わります。*
＊ *フィルター効果のかかった画像は、元の画像の次ページに新しく保存され、それ以降のページ番号は繰り下がります。*
＊ *画像の構図や色の種類によりフィルター効果にかかる時間は異なります。*

画像にタイトルをつける

本機でタイトルを撮影後、画像にタイトルを合成することができます。タイトルに使う文字を紙などに書いておいてください。



タイトルを撮影する

重要! • タイトルを撮影すると、前回撮影したタイトルは消去されます。

1. **【ファンクションスイッチ】を［REC］（撮影）の位置に合わせます。**

2. **【MODE】を何回か押して「タイトル撮影」マーク（ ）を表示させます。**



3. **撮影するタイトルにフレームを合わせます。**
- タイトルを撮影するときは線の内側に合わせます。

＊【+】または【−】で露出を補正することができます（25ページの「露出補正」を参照してください）。

4. **【シャッター】を押します。**



5. **【+】または【−】で明るさを調整（±30段階まで）してから【シャッター】を押します。**

＊ 調整した明るさでタイトルが保存されます。

タイトルを画像に合成する

重要! • 以下の状態のときは、実行できません。
- 表示している画像が高精細画質“F”のとき、撮影できる画像が標準画質“N”とエコノミー画質“E”しかない場合。
- 表示している画像が標準画質“N”のとき、撮影できる画像がエコノミー画質“E”しかない場合。
- 表示している画像がムービー撮影／パノラマ撮影した画像の場合。
- “MEMORY FULL”が表示されている場合。

• 回転させた画像に対してタイトルをつけると、回転処理が解除されます。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

2. **【+】または【−】を使ってタイトルを合成する画像を表示させます。**

3. **【MENU】を押します。**



4. **【+】または【−】を使って“EFFECT”を選び【シャッター】を押します。**



5. **【+】または【−】を使って“TITLE”を選び【シャッター】を押します。**



6. **【+】または【−】を使ってタイトルの色を選び【シャッター】を押します。**

＊【+】を押すごとに、タイトルの色が20種類（【−】は逆）切り替わります。



7. **【+】または【−】を使ってタイトルのプレートを選び【シャッター】を押します。**

＊【+】を押すごとに、プレートの形が8種類（【−】は逆）切り替わります。
＊「プレートなし」を選択したときは手順9に進みます。



8. **【+】または【−】を使ってプレートの色を選び【シャッター】を押します。**

＊【+】を押すごとに、プレートの色が12種類（【−】は逆）切り替わります。



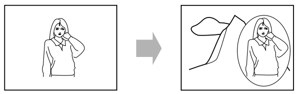
9. **【+】または【−】を使ってタイトルの位置を選び【シャッター】を押します。**

＊【+】を押すごとに、タイトルの位置が5段階（【−】は逆）移動します。
＊ タイトルが合成された画像は、元の画像の次ページに新しく保存され、それ以降のページ番号は繰り下がります。

画像を合成する

撮影した画像に別の画像を合成することができます。

重要! • 高精細画質を1枚も保存できない状態では実行できません。
• ムービー撮影／パノラマ撮影した画像に対しては実行できません。
• 回転させた画像に対して合成を行なうと、回転処理が解除されます。



1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

2. **【+】または【−】を使って合成する画像を表示させます。**

3. **【MENU】を押します。**



4. **【+】または【−】を使って“EFFECT”を選び【シャッター】を押します。**



5. **【+】または【−】を使って“MIX”を選び【シャッター】を押します。**



6. **【+】または【−】を使って使用する枠を選び【シャッター】を押します。**

＊ 枠は4種類選ぶことができます。

7. **【+】または【−】を使って画像の位置を微調整して【シャッター】を押します。**

＊ 左右を調整後、上下を調整します。

8. **【+】または【−】を使って背景に使用する画像を選び【シャッター】を押します。**

＊ 縦楕円と小丸を選んだときは手順9に進みます。

9. **【+】または【−】を使ってはりつける位置を選び【シャッター】を押します。**

＊ 合成した画像は、元の画像の次ページに新しく保存され、それ以降のページ番号は繰り下がります。

画像を並び替える

撮影した画像の順番を並び替えることができます。

1. 【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。

2. 【MENU】を押します。



3. 【＋】または【－】を使って“TOOL”を選び【シャッター】を押します。



4. 【＋】または【－】を使って“MOVE”を選び【シャッター】を押します。



5. 【＋】または【－】を使って移動する画像を選び【シャッター】を押します。



6. 【＋】または【－】を使って移動する場所の画像を選び【シャッター】を押します。

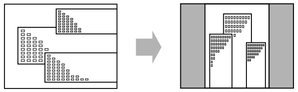
- 選択した画像の前に移動して、ページ番号が変更されます。
- ムービー撮影／パノラマ撮影した画像は、グループ単位で移動／表示されます。
- 最終ページに移動させる場合は、“LAST PAGE”を選択します。



画像を回転する

撮影した画像を90°ずつ回転させることができます。

重要! ムービー撮影／パノラマ撮影した画像に対しては実行できません。



1. 【ファンクションスイッチ】を［PLAY］の位置に合わせます。

2. 【＋】または【－】を使って回転させる画像を表示させます。

3. 【MENU】を押します。



4. 【＋】または【－】を使って“TOOL”を選び【シャッター】を押します。

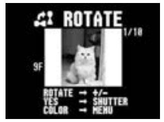


5. 【＋】または【－】を使って“ROTATE”を選び【シャッター】を押します。



6. 【＋】または【－】を使って回転する角度を選択します。

＊0°、180°を選択したときは手順8に進みます。



7. 背景の色を指定します。

- 90°、270°の場合は【MENU】を押すごとに背景の色を10種類の中から選択することができます。

8. 【シャッター】を押します。

- 指定した角度で画像が回転されます。

重要! 回転した画像は、表示する際に回転処理を行なっているだけです。画像データとしては、元のデータのままなので、パソコンなどに取り込んだ場合や、QVプリンターで出力した場合は回転されていない状態で出力されます。

メモリープロテクト機能について

必要な画像を誤って削除してしまわないために、本機には「メモリープロテクト」（削除防止）機能が付いています。メモリープロテクトのかけ方には、「1画像ごと」「全画像まとめて」の2つの方法があります。

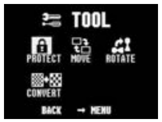
1画像単位でメモリープロテクトをかける／解除する

1. 【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。

2. 【MENU】を押します。



3. 【＋】または【－】を使って“TOOL”を選び【シャッター】を押します。



4. 【＋】または【－】を使って“PROTECT”を選び【シャッター】を押します。



5. 【＋】または【－】を使って“PAGE”を選び【シャッター】を押します。



6. 【＋】または【－】を使ってメモリープロテクトをかけたり解除する画像を表示させます。

7. 【シャッター】を押して、メモリープロテクトをかけたり解除します。

＊メモリープロテクトがかかると、指定した画像の左側に鍵マーク“ ”が表示されます。

8. このまま続けてメモリープロテクトを行ないたい場合は、手順6～手順7を繰り返してください。

- ムービー撮影／パノラマ撮影した画像は、グループ単位でメモリープロテクトがかかります。

＊設定画面から抜ける場合は、【MENU】を押すか、1分間何も操作しないと元の画面に戻ります。

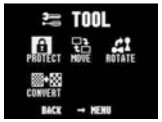
全ページにメモリープロテクトをかける／解除する

1. 【ファンクションスイッチ】を［PLAY］の位置に合わせます。

2. 【MENU】を押します。



3. 【＋】または【－】を使って“TOOL”を選び【シャッター】を押します。



4. 【＋】または【－】を使って“PROTECT”を選び【シャッター】を押します。



5. 【＋】または【－】を使って“ALL”を選び【シャッター】を押します。

6. 【＋】または【－】を使って“ALL”（プロテクト設定時）または“CANCEL”（プロテクト解除時）を選び【シャッター】を押します。

＊メモリープロテクトをかけてから、「画面情報表示」にすると、すべての画像の左上に鍵マーク“ ”が表示されます。
＊メモリープロテクトを解除してから「画面情報表示」にすると、すべての画像の左上の鍵マーク“ ”が消えます。

画像を削除する

重要! 一度削除してしまった撮影内容は、二度と元に戻すことはできません。削除の操作を行なう際は、本当に不要な画像かどうかをよく確かめてから行なってください。特に、全画像削除の操作では、撮影した全ての内容を一度に削除してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。

＊ メモリープロテクトのかかった画像は削除できません。47ページを参照してメモリープロテクトの解除を行なってから操作をしてください。

1画像ずつ削除する

画像を１画像ずつ確認しながら削除する方法です。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**
2. **【MENU】を押します。**



3. **【＋】または【－】を使って“DELETE”を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【－】を使って“PAGE”を選び【シャッター】を押します。**



5. **【＋】または【－】を使って削除したい画像を表示させます。**
   - ムービー撮影した画像は、グループ単位で表示されます。
   - パノラマ撮影した画像は、１枚単位で表示され、削除後再グループ化されます。

   ＊ *このときプロテクト設定されている画像は表示されません。*
6. **現在表示されている画面が間違いなく削除したい画像であることを確認してください。**

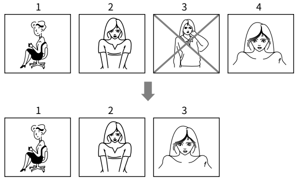
   ＊ *もし、削除せずに元の画面に戻るには、【＋】／【－】／【シャッター】以外のボタンを押します。*

7. **削除するには、【シャッター】を押します。**
   - ムービー撮影した画像は、グループ単位で削除されます。

   ＊ *画面に表示されていた画像が削除され、続けて次の画像が削除できる状態になります。*
8. **このまま続けて画像削除を行ないたい場合は、手順５～手順７を繰り返してください。**

   ＊ *削除の操作を終了したい場合は、【＋】／【－】／【シャッター】以外のボタンを押します。*

参考 １画像削除を行なうごとに、ページの空きができないように自動的に「ページ詰め」が行なわれます。



すべての画像を一度に削除する

画像のすべてを一度に削除する方法です。この方法で削除を行なっても、メモリープロテクト（47ページ）をかけた画像だけは削除されません。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**
2. **【MENU】を押します。**



3. **【＋】または【－】を使って“DELETE”を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【－】を使って“ALL”を選び【シャッター】を押します。**



重要! 次の操作を行なうと、画像のすべてが削除されます。すべて削除してよいかどうか確認がお済みでない場合は、ここで“EXIT”を選んで一度元の画面に戻り、再度撮影内容をご確認の上、はじめから操作を行なうことをお勧めします。

5. **【＋】または【－】を使って“ALL”を選び【シャッター】を押します。**

   ＊ *すべての画像が削除され、画面に“NO IMAGE”と表示されます。*

   ＊ *メモリープロテクトがかかっている画像がある場合は、メモリープロテクトをかけてある最初の画像が表示されます。*

画質を変換する

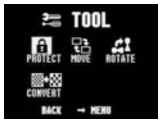
高精細画質で撮影した画像を標準画質に、標準画質の画像をエコノミー画質の画像に変換することができます。

＊ 変換後、元の画像は削除されます。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**
2. **【＋】または【－】を使って画質変換したい画像を表示させます。**
   - ムービー撮影／パノラマ撮影した画像に対しては実行できません。
   - メモリープロテクトのかかった画像に対しては実行できません。
3. **【MENU】を押します。**



4. **【＋】または【－】を使って“TOOL”を選び【シャッター】を押します。**



5. **【＋】または【－】を使って“CONVERT”を選び【シャッター】を押します。**



6. **【シャッター】を押します。**
   - 高精細画質で撮影した画像は、標準画質に、標準画質の画像は、エコノミー画質の画像に変換されます。
   - エコノミー画質の画像に変換されると、通常の再生画面に戻ります。

   ＊ *画像変換の操作を終了したい場合は、【MENU】を押します。*

さまざまな機器との接続

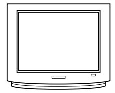
ここでは、本機とさまざまな外部機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）を接続して使うときの接続のしかた、および使いかたについて説明します。また、接続に際しての注意点なども、あわせて説明します。

接続に使う端子について

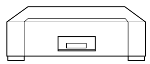
本機は、接続用の端子として「ビデオ出力端子」と「デジタル端子」の２つを備えており、テレビやビデオ、パソコンなどさまざまな機器と接続して使うことができます。

ビデオ出力端子に接続

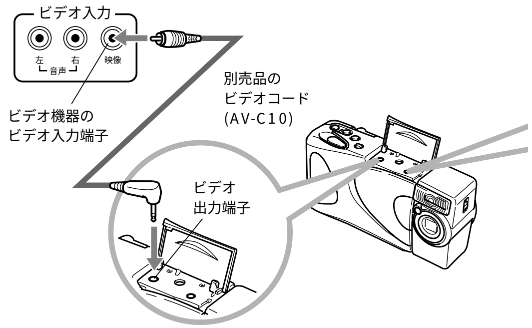
テレビ　→56ページ



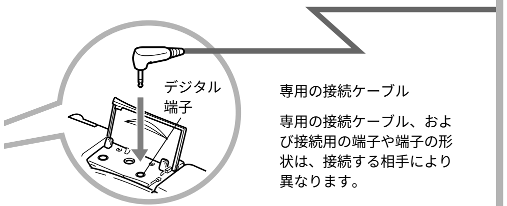
ビデオ、ビデオプリンター



撮影した内容をビデオに録画したり、ビデオプリンターで印刷することができます。



重要!
- 接続は、本機と外部機器の電源を切った状態で行なってください。
- 接続する外部機器側の取扱説明書を参照してください。
- テレビやパソコンのCRTに同一画像を表示して長時間放置しておきますと、残像現象（画ヤケ）をおこす場合がありますので、同一画像のまま長時間放置することはおやめください。

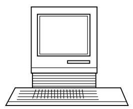


専用の接続ケーブル

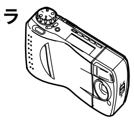
専用の接続ケーブル、および接続用の端子や端子の形状は、接続する相手により異なります。

デジタル端子に接続

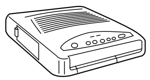
パソコン
→60ページ



カシオの他のデジタルカメラ
→58ページ



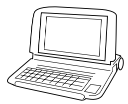
QVカラープリンター
→57ページ



カシオのワープロ

カシオのワープロと接続して、本機の撮影内容をワープロに取り込むことができます。
- 接続には、別売品の専用ケーブル（SB-600）が必要です。

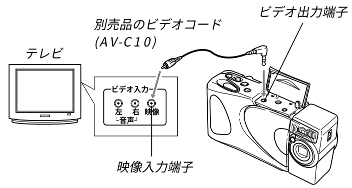
重要!　カシオのワープロでも機種によっては接続できない場合があります。また、接続できるワープロでも機種によっては使用できる機能が異なりますので、詳しくはワープロに付属の取扱説明書を参照してください。



接続のしかたと操作

テレビとの接続

本機で撮影した内容を、テレビ画面に映して見ることができます。テレビ画面に映すには、専用ビデオコード（AV-C10）を使って本機とテレビを接続します。



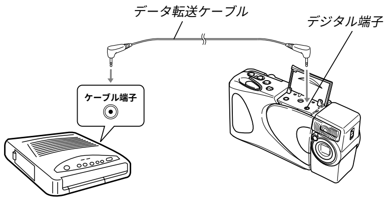
1. **別売品の専用ビデオコード(AV-C10)を使って、本機とテレビを接続します。**
2. **接続したら、テレビ側のチャンネルを「ビデオ入力」にセットします。**
3. **接続後の操作手順は、32ページ「基本的な再生」と同じです。**

重要!
- テレビを本機と接続するには、テレビ側が上記のイラストのような「映像入力端子」を備えている必要があります。
- 本機のビデオ出力は、日本やアメリカなどで標準的なNTSC方式になっています。ヨーロッパなどのPAL方式や他の方式のテレビ、ビデオ機器では正常に表示されませんのでご注意ください。
- 電池残量表示（16ページ）などの表示は、そのままテレビ画面に表示されますのでご注意ください。

QVカラープリンターとの接続

QVカラープリンターと接続して、撮影内容をプリントすることができます。

接続できる機種：QG-100／DP-300／DP-8000



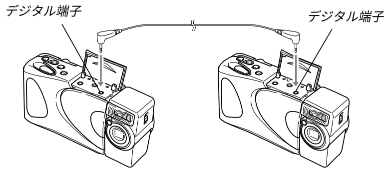
1. QVカラープリンターに付属の通信ケーブルを使って本機とQVカラープリンターを接続します。
2. 接続したら、【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせ電源を入れます。
   - QVカラープリンターでプリントする操作については、QVカラープリンターに付属の取扱説明書を参照してください。

重要! QVカラープリンターと接続したときは、ムービー撮影した画像は16分割表示になります。また、パノラマ撮影した画像は1枚ずつの画像のままで、合成された画像としてプリントできません。

カシオの他のデジタルカメラとの接続

カシオの他のデジタルカメラと接続して、本機の撮影内容を他のデジタルカメラに取り込んだり、他のデジタルカメラから本機にデータを読み込むことができます。

接続できる機種：カシオQV-10／QV-10A／QV-11／QV-30／QV-70／QV-100／QV-200／QV-300／QV-700／QV-770



通信の準備

1. 両方のデジタルカメラの電源をOFFにします。
2. 別売品の専用ケーブル（SB-62）を使って本機と他のデジタルカメラを接続します。
3. 両方のデジタルカメラの電源をONにします。

通信の実行

＊ この操作は、必ずQV-770側を本機としてください。

1. 両方のデジタルカメラの【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。
2. 送受信したい画面を選びます。

■本機から送信時
本機の【＋】または【－】で選びます。

■本機へ受信時
他のデジタルカメラの【＋】または【－】で選びます。

＊ [REC]（撮影）の状態では、通信は開始できません。
＊ マルチ画面やクローズアップ画面の通信はできません。

3. 本機の【シャッター】を押します。



4. 本機の【＋】または【－】で送信" SEND "または受信" RECEIVE "を選びます。
   ＊ 操作を中止したい場合は【MENU】を指定します。
5. 本機の【シャッター】を押します。
   - 選択した画像が送受信されます。
   - ムービー撮影／パノラマ撮影した画像は、グループ単位で送受信されます。

重要!
- 通信操作中は、絶対にケーブルを抜いたり、【電源スイッチ】や、【ファンクションスイッチ】を操作しないでください。故障の原因になります。
- QV-770以外の機種に、ムービー撮影／パノラマ撮影した画像を送信するとグループが解除されて自動再生ができなくなります。

送信、受信による画質の関係

QV-770と他の機種（QV-700/QV-770）

本　機		相　手
高精細画質	←→	高精細画質
標準画質	←→	標準画質
エコノミー画質	←→	エコノミー画質
エコノミー画質	←	QUARTER（QV-700のみ）

QV-770と他の機種（QV-100/QV-200/QV-300）

本　機		相　手
高精細画質	→	FINE
標準画質	→	FINE
エコノミー画質	→	FINE
標準画質	←	FINE
エコノミー画質	←	NORMAL

QV-770と他の機種（QV-10/QV-10A/QV-11/QV-30/QV-70）

本　機		相　手
高精細画質	→	NORMAL
標準画質	→	NORMAL
エコノミー画質	→	NORMAL
エコノミー画質	←	NORMAL

＊ QV-10／QV-10A／QV-11／QV-30／QV-70の画像はNORMALモードのみです。

パソコンリンクケーブル、およびパソコンリンクソフトを使った接続

本機の撮影内容を、最も劣化の少ないデジタルデータの状態でパソコンに転送するための専用パソコンリンクケーブルおよび、パソコンリンクソフトが用意されています。専用パソコンリンクケーブルとパソコンリンクソフトを使うと、本機の撮影内容をパソコンにデータ送信したり、逆にパソコンの画像データを本機に取り込んだりすることができます。
パソコンの機種に応じた接続のしかた、本機の操作とパソコン上のソフトの使いかたについては、パソコンリンクソフトに付属の取扱説明書をご参照ください。

使用できるケーブル
PC-9801/9821シリーズ用：QC-1N
IBM PC/AT互換機用　PC-98NXシリーズ用：QC-1D
Macintosh用：QC-2M

使用できるソフト
Windows版：LS-7W/LS-10W
Macintosh版：LS-11M

- Windows版、LK-1／LK-10NC／LK-10DV／LS-1WおよびMacintosh版、LK-2／LK-2A／LS-2M／LS-8Mの接続キット中のパソコンリンクソフトでは動作保証しておりませんのでご使用にならないでください。
- カシオのパソコンリンクソフトの動作環境については、各々のパッケージ、または取扱説明書を参照してください。
- ムービー画像／パノラマ画像を、一旦パソコンに転送すると16分割画像や合成されていない画像となり、そのままではムービー再生／パノラマ再生ができません。パソコン上では、連写対応のSpin PhotoObject Ver.1.1やSpin Panoramaを使ってムービー／パノラマをお楽しみください。
  また、一旦パソコンに転送した画像はカメラに戻してもムービー再生／パノラマ再生機能は使えません。
- 赤外線通信(IrDA)は、IrDAポートが内蔵、またはIrDAアダプタが外付けされていて、IBM PC/AT互換機用赤外線ドライバVer.1.0以降、あるいはNECPC-98シリーズ用赤外線ドライバVer.2.0が正常に動作しているパソコンが必要です。
  赤外線通信(IrDA)が出来るパソコンリンクソフトはWindows用のLS-10Wです。LS-7Wでは対応していません。
- Macintosh用パソコンリンクソフトでは、赤外線通信(IrDA)ができません。

カシオのCASSIOPEIAとの接続

カシオのＣＡＳＳＩＯＰＥＩＡと接続して、本機の撮影内容をCASSIOPEIAに取り込むことができます。
- 接続には、別売品の専用ケーブル（SB-62）が必要です。

重要! CASSIOPEIAでも機種によっては接続できない場合があります。また、接続できるCASSIOPEIAでも機種によっては使用できる機能が異なりますので、詳しくはCASSIOPEIAに付属の取扱説明書を参照してください。

赤外線通信のしかた

接続ケーブルを使わずに、本機の撮影内容を他のデジタルカメラなどに取り込んだり、他のデジタルカメラから本機にデータを読み込むことができます。

IrTran-Pによる通信のしかた

IrTran-P TranP とは

- 本機の赤外線通信機能は、IrDA通信のIrTran-Pに対応しており、IrTran-P対応機器との間で、データの送受信が可能です。
- IrTran-Pは、日本電信電話(株)、ソニー(株)、シャープ(株)、オカヤ・システムウェア(株)、当社で共同開発した、デジタルカメラの静止画像を赤外線により転送するための通信規格です（1998年1月現在）。

画像データを受信する

画像データを受信するときは、受信待機状態にします。

【ϟ/Tran-P】からの操作

1. 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。
2. 【ϟ/Tran-P】を押します。



3. 【＋】または【－】を使って“RECEIVE”を選び【シャッター】を押します。
4. 受信待機画面になります。
   - 送信する機器に、10〜30cm以内で本機を向かい合わせてください。
   - 送信機器側の取扱説明書も参照してください。



【MENU】からの操作

1. 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。
2. 【MENU】を押します。



3. 【＋】または【－】を使って“IR”を選び【シャッター】を押します。



4. 【＋】または【－】を使って“IRTRAN-P”を選び【シャッター】を押します。



5. 【＋】または【－】を使って“RECEIVE”を選び【シャッター】を押します。
6. 受信待機画面になります。
   - 送信する機器に、10〜30cm以内で本機を向かい合わせてください。
   - 送信機器側の取扱説明書も参照してください。



画像データを送信する

重要! QV-770以外の機種に、ムービー撮影／パノラマ撮影した画像を送信するとグループが解除されて自動再生ができなくなります。

■選択した画像を送信する

送る画像データを１つずつ選んで送信します。

【ϟ/Tran-P】からの操作

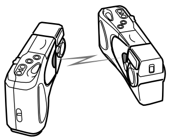
1. 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。

2. 【＋】または【－】を使って送信する画像を選びます。
3. 【ϟ/Tran-P】を押します。



4. 【＋】または【－】を使って“SEND”を選び【シャッター】を押します。
5. 送信待機画面になります。
   - 受信する機器に、10〜30cm以内で本機を向かい合わせてください。
   - 画像送信を中止したい場合は【MENU】を押します。





【MENU】からの操作

1. 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。
2. 【MENU】を押します。



3. 【＋】または【－】を使って“IR”を選び【シャッター】を押します。



4. 【＋】または【－】を使って“IRTRAN-P”を選び【シャッター】を押します。



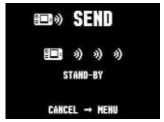
5. 【＋】または【－】を使って“SEND”を選び【シャッター】を押します。

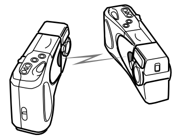


6. 【＋】または【－】を使って“PAGE”を選び【シャッター】を押します。
7. 【＋】または【－】を使って送信する画像を選び【シャッター】を押します。
   - 送信選択した画像には、“★”マークが表示されます。
   - 複数枚の画像を送信する場合は、手順７を繰り返します。（IrTran-P対応の機器でも機種によっては複数枚受信できないものがあります。）



8. 送りたい画像を確認して【MENU】を押します。
9. 送信待機画面になります。
   - 受信する機器に、10〜30cm以内で本機を向かい合わせてください。
   - 画像送信を中止したい場合は【MENU】を押します。





■すべての画像を送信する

本機の画像データをすべて送信します。

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

2. **【MENU】を押します。**



3. **【＋】または【−】を使って"IR"を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【−】を使って"IRTRAN-P"を選び【シャッター】を押します。**



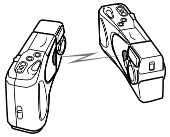
5. **【＋】または【−】を使って"SEND"を選び【シャッター】を押します。**



6. **【＋】または【−】を使って"ALL"を選び【シャッター】を押します。**

7. **送信待機画面になります。**
- 10〜30cm以内で向かい合わせてください。
- 機種によっては複数枚受信できないものがあります。
- 受信側のメモリー容量によっては全画像受信できないことがあります。
- 画像受信を中止したい場合は【MENU】を押します。





パソコンリンクソフトによる通信のしかた

接続ケーブルを使わずにIrDA1.0以上が動作するパソコンと専用のパソコンリンクソフトを使用して、本機の撮影内容をパソコンに送信したり、逆にパソコンの画像データを本機に取り込んだりすることができます。

詳しくは、パソコンリンクソフトに付属の取扱説明書をご参照ください。

重要! ムービー撮影／パノラマ撮影した画像を、パソコンに保存して再度本機に転送し直すと自動再生はできなくなります。

通信の準備

1. **【ファンクションスイッチ】を［PLAY］（再生）の位置に合わせます。**

2. **【MENU】を押します。**



3. **【＋】または【−】を使って"IR"を選び【シャッター】を押します。**



4. **【＋】または【−】を使って"QV-LINK"を選び【シャッター】を押します。**



5. **パソコンの赤外線送受信部に、本機を向かい合わせてください。**

6. **パソコンリンクソフトを動作させてください。**

赤外線通信時の注意事項

- 送信側／受信側の送受信部に光軸が一致するようまっすぐ向き合わせてください。また、送受信部が隠れないようにしてください。
- 赤外線通信すると、電池の消耗が早くなります。赤外線通信時は、別売のACアダプターをお使いになることをおすすめします。
- IrTran-Pに対応されていない機器とは通信できません。
- 直射日光など、強い光の当たるところでの通信は避けてください。
- 外光の影響、電池の消耗状況、通信距離、送受信する角度などにより、通信が不安定になり、通信できなかったり、画像の一部が変化することがあります。
- 通信範囲にしゃへい物があると、正しく通信できません。
- 他の赤外線通信機器（リモコンなど）や蛍光灯などを近くに置かないでください。誤動作の原因となります。
- IrTran-Pで画像を送信または受信している時に、通信相手のID（商品識別文字列）が表示されます。
  IDには通常会社名や商品名などが表示されますが、相手の機器によっては表示されない場合もあります。

ご参考、および保証等について

本機の操作中に不都合があった場合は、本章の「故障とお思いになる前に」をご参照ください。製品の仕様や別売品についても、こちらに記載してあります。また、保証とアフターサービスについて、カシオのサービスステーション一覧が巻末に付記されています。

故障とお思いになる前に

	現　象	考えられる原因	対　処
電源について	電源が入らない	1) 電池が正しい向きに入っていない。 2) 電池が消耗している。 3) 本機専用以外のACアダプターを使用している。	1) 電池を正しい向きに入れる（→15ページ）。 2) 新しい電池４本と交換する（→15ページ）。 3) 本機専用のACアダプター（AD-C620）を使用する。
	電源が勝手に切れた	1) オートパワーオフが働いた（→16ページ）。 2) 電池消耗している。	1) 再度電源を入れ直す。 2) 新しい電池４本と交換する（→15ページ）。
	画面中央部に“ ”というマークが出た	電池が切れる寸前である。	新しい電池４本と交換する（→15ページ）。
撮影について	【シャッター】を押しても撮影できない	1)【ファンクションスイッチ】が[PLAY]（再生）の位置になっている。 2) フラッシュ充電中である。 3)“ MEMORY FULL ”と表示されている。 4)“ REMAINING ”と表示されている。	1) [REC]（撮影）の位置に合わせる。 2) フラッシュの充電が終わるのを待つ。 3) いらない画像を削除する。 4)【F▸N▸E】を押して画質モードを切り替える。または、いらない画像を削除する。
	ｾﾙﾌﾀｲﾏｰ撮影の途中で電源が切れた	電池が消耗している。	新しい電池４本と交換する（→15ページ）。
	液晶画面に表示される映像のピントがあまい	【👤~▲▲／🌷】の位置が正しくない。	風景や人物撮影時は[👤~▲▲]に、接写時には[🌷]の位置に合わせる（→24ページ）。
	室内での撮影時に、画面の色や明るさが変化する	室内照明が蛍光灯である。	白熱電球など蛍光灯以外の照明を使う（→21ページ）。

	現　象	考えられる原因	対　処
撮影について	ムービー撮影できない	1) 撮影モードがムービー撮影になっていない。 2) 撮影できる枚数が足りない。	1)【MODE】を押して、ムービー撮影モードにする。 2) いらない画像を削除して、残り枚数を高精細“F”で２枚以上にする。
再生について	再生した画像の色が、撮影時に画面で見た色と違う	太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている。	直接光がレンズに当たらないようにしてください。
	マルチ画面表示で【＋】／【－】が効かない	画面が停止した状態でないと、【＋】／【－】は効きません。	画面の停止中に【＋】／【－】を押してください。
	テレビにつないでもテレビの画面に本機の液晶画面の表示内容が出ない	1) 本機とテレビを正しく接続していない。 2) テレビ側の設定が合っていない。	1) 専用ビデオコードを使って、正しく接続する（→56ページ）。 2) テレビ側の設定を合わせる。テレビに付属の取扱説明書をご参照ください。
削除について	“ DELETE ”を指定しても削除指定画面に移動できない	記録されているすべてのページにメモリープロテクトがかかっている。	削除したいページのメモリープロテクトを解除する（→47ページ）。
その他	メニュー内のアイコンが青色になって選択できない	再生画像に対して機能しないアイコンは青色になって選択されない。	
	すべてのボタン、スイッチがきかない	他の周辺機器と接続中に、静電気や衝撃等により、回路内部に障害が発生した。	電池を取り出し、ACアダプターのプラグを本機から抜き、入れ直してから、再度操作してみてください。

	現　象	考えられる原因	対　処
その他	カメラtoカメラの通信モードに入れない	1) ケーブルが接続されていない。 2) 相手側のカメラの電源が入っていない。 3)【ファンクションスイッチ】が[REC]の位置になっている。	1) ケーブルを接続し直してください。 2) ケーブルを接続してから電源を入れてください。 3) [PLAY]モードでやり直してください。
	通信ができない（通信エラーになる）	1) 相手側が“ MEMORY FULL ”で送信を選択した。 2) 相手側が“ MEMORY EMPTY ”で受信を選択した。 3) 相手側の【ファンクションスイッチ】が[REC]の位置になっている。 4) 電池が消耗している。 5) 通信中にケーブルがはずれた。	1) 相手側の画像を削除してから操作してください。 2) 相手側の画像を確認してください。 3) 相手側の【ファンクションスイッチ】を[PLAY]の位置にしてください。 4) 新しい電池に入れ替えるか、ACアダプターを接続して行なってください。 5) ケーブルをきちんと接続してください。
	赤外線通信ができない	1) 相手側の機器がIrTran-P対応でない。 2) 正しく向き合っていない。 3) しゃへい物や他の赤外線通信機器／蛍光灯などが近くにある。 4) 直射日光があたっている。	1) IrTran-P対応の機種を使用してください。 2) 光軸が一致するようにまっすぐ向き合わせてください。 3) しゃへい物など通信妨害するものがない場所で行なってください。 4) 直射日光があたらない場所で行なってください。
	勝手にページ送りがはじまった	スクリーンセーバー機能が[ON]になっている。	スクリーンセーバー機能を[OFF]にしてください（→39ページ）。

画面に表示されるメッセージ

ERROR	通信中にエラーがあったときに表示されます。 もう一度ケーブルの接続や、カメラのモードを確認してから行なってください。
FULL	ムービー撮影できないときに表示されます。 ムービー撮影を行ないたい場合は、いらない画像を削除するか、画質変換の操作を行なってください(→49、52ページ)。
MEMORY ERROR #1, #3 CONSULT THE OWNER'S MANUAL	本体の内蔵メモリーに異常が発生した場合に表示されます。下記の操作により、メモリーエラーの解除ができる場合もあります。 **重要!** 下記の操作を行なうと撮影した内容がすべて消えてしまいます。 撮影内容を消去したくない場合は、パソコンリンクソフトを使用して画像の保存を行なってから操作してください。 1. **【F▸N▸E】と【MENU】を押します。** SYSTEM RESET YES → SHUTTER NO → CALL TECH SUPPORT 2. **“SYSTEM RESET”画面が表示されたら、【シャッター】を押します。** SYSTEM RESET ALL DATA WILL BE ERASED REALLY DELETE? YES → SHUTTER NO → CALL TECH SUPPORT • システムリセットを中止したい場合は電源を切ってください。 • システムリセットの操作を行なうときは、ACアダプターを使用するか、新品のアルカリ電池または、リチウム電池を使用してください。弱った電池を使用してシステムリセットの操作を行ない、システムリセット中に電源が切れるとサービスステーションに持ち込み、調整が必要になります。 • システムリセットを行なっても、“MEMORY ERROR”が繰り返し発生する場合は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。 3. **“SYSTEM RESET”最終確認画面が表示されたら、【シャッター】を押します。** 4. **【シャッター】を押すとシステムリセットが開始され、システムリセットが終了すると通常の画面に戻ります。**
MEMORY ERROR #2, #4 CONSULT THE OWNER'S MANUAL	本体の内蔵メモリーに異常が発生した場合に表示されます。この表示が出た場合は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。(→78ページ)
MEMORY FULL	撮影可能枚数を使い切りました。撮影を行ないたい場合は、一度削除または、画質変換の操作を行なう必要があります(→49、52ページ)。
NO IMAGE	まだ何も撮影していない状態、あるいは撮影内容をすべて削除して本機に画像が1枚もない状態では、画面にこのように表示されます。
REMAINING	現在の画質モードでは撮影できる枚数がなくなり、他の画質モードに切り替えるとまだ撮影できることを示しています。【F▸N▸E】を押して画質モードを切り替えるか、一度削除の操作を行なうか、画質変換の操作を行なう必要があります(→49、52ページ)。

主な仕様／別売品

主な仕様

記録形式	JPEG準拠*1 *1 パソコンリンクソフトにより、CAM/JPEG/TIFF等のファイル形式で出力される
記録媒体	内蔵フラッシュメモリー：４MB
記録コマ数／画像ファイルサイズ	高精細：30枚以上(約124KB/コマ) 標　準：60枚以上(約62KB/コマ) エコノミー：120枚(約32KB/コマ)
消去	１画面単位、全画面一括消去可能 (メモリープロテクト機能付き)
撮像素子	1/4インチCCD (総画素数：35万画素、有効画素数：33万画素)
パソコン出力画素数	640×480
レンズ	固定焦点マクロポジション付き F2　f=3.9mm (35mmフルサイズカメラの38mm相当)
絞り	F2、F8自動切替式／固定
撮影可能距離	標準：0.7m〜∞、接写：14〜16cm (レンズ保護フィルター表面より)
測光方式	撮像素子によるTTL中央重点測光
露出制御方式	プログラムAE／絞り優先AE
測光連動範囲	EV＋5〜18
露出補正	−2EV〜＋2EV(1/4EV単位)
シャッター形式	CCD電子シャッター
シャッタースピード	1/8〜1/4000秒
ホワイトバランス	自動／固定
セルフタイマー	作動時間10秒
撮影関連機能	単写撮影、連写撮影、セルフタイマー撮影、ムービー撮影、パノラマ撮影、タイトル撮影、接写撮影
内蔵フラッシュ	自動発光、強制発光、発光禁止切替可能
モニター	ファインダー兼用1.8型TFT低反射カラー液晶 122,100(555×220)画素
ビデオ出力	NTSC標準方式準拠
赤外線通信	IrDA1.0準拠　IrTran-P対応
入出力端子	デジタル入出力端子、ビデオ出力端子、外部電源端子
電源	乾電池×４(単３型アルカリ電池およびリチウム電池)／ACアダプター(AD-C620)

電池持続時間

以下の電池持続時間は、標準温度(25℃)で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間ではありません。低温下で使うと、電池持続時間が短くなります。

使用電池	単３型アルカリ電池　LR6	単３型リチウム電池　FR6
連続再生時	約190分	約320分
連続撮影時	約690枚撮影可能	約1430枚撮影可能

アルカリ電池は松下電池工業(株)製、リチウム電池は富士写真フィルム(株)製の場合の数値です。
電池持続時間はメーカーによって異なります。
連続撮影枚数は、フラッシュを使用せずに撮影した場合の撮影可能枚数です。フラッシュの使用、電源のON/OFFなどの条件により数値は異なります。

サイズ	幅129mm×高さ66mm×奥行き38mm
質量	約200g(電池含まず)
付属品	ハンドストラップ、ソフトケース、アルカリ電池(LR６×４本)、取扱説明書(保証書付き)
消費電力	約6.8W

• 液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

別売品

• ACアダプター
　AD-C620

• パソコンリンクソフト
　Windows版 LS-7W
　　　　　　LS-10W
　Macintosh版 LS-11M

• パソコンリンクケーブル
　PC-9801/9821シリーズ用 QC-1N
　IBM PC/AT互換機用 PC-98NXシリーズ用 QC-1D
　Macintosh 用 QC-2M

• QVカラープリンター
　QG-100
　DP-300
　DP-8000

• データ転送ケーブル
　SB-62（デジタルカメラ用）

• 通信用ケーブル
　SB-600（ワープロ用）

• ビデオコード
　AV-C10